



LEARN in 福島

いつも皆同じでなければいけないのか？

食から 考える 子育て

参加費
無料
要申込

～一緒にこれからの教育を考えてみませんか～

参加対象

食や教育を通して、一人一人の特性に目を向けた取組みに興味のある方
お子さんが学校や集団になじめず子育てに不安のある方
様々な課題に向き合う教育関係の方

登壇者

なか むら けん りゅう
中邑 賢龍

東京大学先端科学技術研究センター
個別最適な学び寄付研究部門
シニアリサーチフェロー

ど い よし はる
土井 善晴

東京大学先端科学技術研究センター
個別最適な学び寄付研究部門 客員研究員
料理研究家

令和5年 6/17 (土)

会場 福島県郡山市 市民交流プラザ大会議室

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ7階

駐車場はありませんので、公共交通機関を利用するか、近隣の有料駐車場をご利用ください。

時間 14:00 ～ 15:30 (受付 13:40～)

定員 200名(先着順)

本イベントは先着順となります。
定員に達し次第、申込受付を終了いたします。



お申込みはこちら

東大先端研LEARNが描く未来の教育

LEARN子育て・教育対談 in 福島

『食から考える子育て』

～一緒にこれからの教育を考えてみませんか～』

今の料理は誰もが均質・均一にできることを目指しているように思います。それを何も考えず、美味しいことが当たり前のように食事をしていると思います。

一方、一汁一菜などの著書で知られる料理研究家の土井善晴氏は、「天候や産地によって食材は違うのだから、いつも同じような味に出来ないのは当たり前だ、むしろ、調味料で無理やり同じ味にするのではなく、違いを楽しむ話すことの方が大切では」と語ります。

これからの教育を考える活動が続けている東大先端研の中邑賢龍氏は、「子どもは生まれつき異なる特性を持って生まれる、それを教育で無理やり社会が理想とする人間に近づけようとすれば子どもに無理が生じる」と語ります。

インターネット、タブレット、ゲーム、AI、ロボットなどの情報技術の普及は社会を急速に変えつつあります。それに適応すると同時に、生物としての人間の本质を失わないように子育て・孫育てが求められる難しい時代です。

皆さんと一緒に未来の教育を考える時間になればと思います。

登壇者紹介



なか むら けん りゅう

中邑 賢龍

東京大学先端科学技術研究センター
個別最適な学び寄付研究部門
シニアリサーチフェロー

1956年 山口県生まれ

既存の教育に馴染めない子どもの新しい学びの試みであるLEARNプログラムなど社会問題解決型実践研究を推進。著書に『バリアフリー・コンフリクト』（東京大学出版会）、『タブレットPC・スマホ時代の子どもの教育』（明治図書）、『育てにくい子は挑発して伸ばす』（文芸春秋）などがある。



ど い よし はる

土井 善晴

東京大学先端科学技術研究センター
個別最適な学び寄付研究部門
客員研究員

1957年 大阪府生まれ

スイス、フランスでフランス料理を学び、帰国後「味吉兆」で日本料理を修業。料理から人間と自然を考える食事学・料理学を研究。テレビNHKきょうの料理・ラジオ深夜便など。著書に「一汁一菜でよいという提案」（新潮社文庫）、別冊太陽「土井善晴」（平凡社）など。また海外での交流活動で和食文化発信により「文化庁長官表彰」受賞。

プログラム

13:40

受付開始

14:00 - 15:00

教育対談「食から考える子育て」

15:00 - 15:30

質疑応答

お問い合わせ先

東京大学先端科学技術研究センター 個別最適な学び寄付研究部門 中邑研究室

〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1 14号館208号室

MAIL : info@learn-project.com WEB : <https://learn-project.com/> 「東大先端研 LEARN」で検索

